

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月10日（金）

2 確認箇所

- ・南側護岸法面（メガフロート津波対策リスク低減対策工事土木材料製造プラント付近）
- ・伐採木一時保管エリアT（旧展望台）
- ・双葉通り（陳場沢川横断近傍）

3 確認項目

台風19号の影響により崩落した法面等の復旧状況

4 確認結果の概要

昨年10月に襲来した台風19号の影響により崩落した法面等の復旧状況を確認した。（図1）

ア 南側護岸法面（メガフロート津波対策リスク低減対策工事土木材料製造プラント付近、図1の①）の状況

- ・前回（令和元年10月16日）、土木材料製造プラント西側の法面に数カ所の崩落箇所を確認した。その箇所を本日確認したところ、崩落箇所の工事は実施されておらず、応急措置として法尻に大型土嚢が1～2段積みで設置されていた。（写真1・2）
- ・大型土嚢には立入禁止の掲示がなされていた。（写真3）

イ 伐採木一時保管エリアT（旧展望台、図1の②）の状況

- ・前回（令和元年10月16日）、当該エリアの西側法面に1カ所の崩落箇所を確認した。その箇所を本日確認したところ、ブルーシートによる応急措置等が講じられるとともに区画により立入禁止の措置が講じられていた。（写真4・5）
- ・当該エリアへの進入路の洗掘による亀裂については、新たな対策は講じられていなかった。（写真6）

ウ 双葉通り（陳場沢川横断近傍、図1の③）の状況

- ・前回（令和元年10月15日）、路肩の崩落のため片側通行の措置が講じられていたことを確認した。その箇所を本日確認したところ、崩落箇所が補修され、支障なく通行できるようになっていた。（写真7）

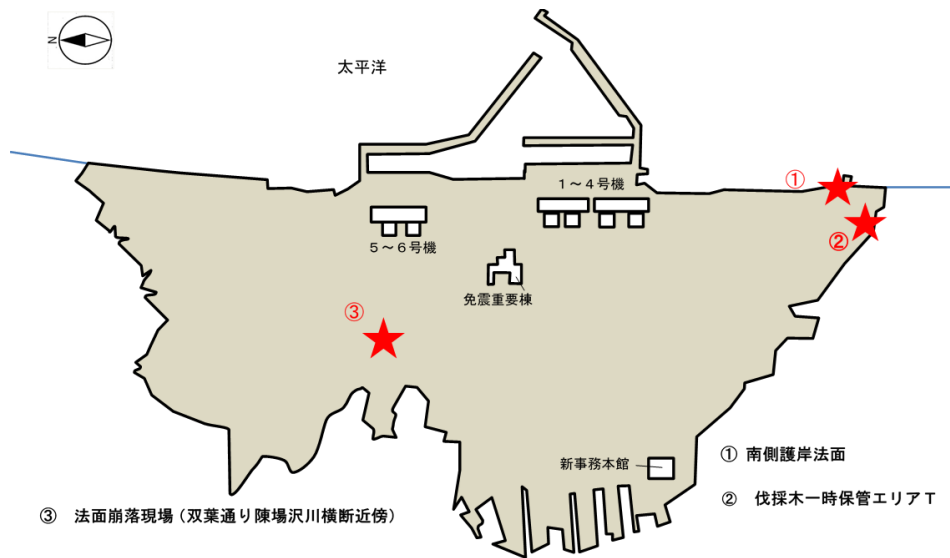


図1 東京電力福島第一原子力発電所構内概要図

(南岸護岸法面の状況)



(写真1-1) 崩落箇所の状況(東側から撮影)(令和元年10月16日撮影)



(写真1-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)



(写真2-1) 崩落箇所の状況(東側から撮影)(令和元年10月16日撮影)



(写真2-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)



(写真3) 大型土嚢設置状況
(東側から令和2年1月10日撮影)

(伐採木一時保管エリアTの状況)



(写真4-1) 崩落箇所の状況(エリア
西側法面。法面下側から撮影。)
(令和元年10月16日撮影)



(写真4-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)



(写真5-1) 崩落箇所の状況(エリア
西側法面。法面上側から撮影。)
(令和元年10月16日撮影)



(写真5-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)



(写真6-1) 進入道路の亀裂の状況(進入道路北側を下側から撮影)
(令和元年10月16日撮影)



(写真6-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)

(双葉通り (陳場沢川横断近傍) の状況)



(写真7-1) 崩落箇所の状況(北東側から撮影) (令和元年10月15日撮影)



(写真7-2) 同左
(令和2年1月10日撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。